

題材 「未来のさくらちゃん」 4時間中の第1(2)時

(1) 学習のねらい

さくらちゃんが大好きでいつも働きかけようとしている子ども達が、教師が実際に作った未来のさくらちゃんに関する作品を観ることを通して、自分であれば未来のさくらちゃんをどう形づくるかを考えやすくなり、それを想像する・製作する楽しさに気づき、自分なりの未来のさくらちゃんを形にすることが出来る。

(2) 本時の学習材

先生の作品

- 子ども達が未来のさくらちゃんについてイメージ出来た時に本学習材を、テレビに映してを提示する。
- この学習材は、先生が作ったさくらちゃんの未来の姿を想像して作ったものである。本作品は、未来で子どもを2匹持ったさくらちゃんと私が野原でレースをしている風景である。この学習材により、さくらちゃんを表現する新たな方法に気づくことが出来るだろう。そして、子ども達が自分で作ってみたいという気持ちが出ることを期待する。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 未来のさくらちゃんはどのようなになっているか考える。	学習問題 さくらちゃんの未来ってどんな感じ？	5'	・先にイメージを出し合うことで、何かからすればいいのか分からないという子を作らないようにする。 ○ 子ども達が未来のさくらちゃんをイメージした後に提示する。テレビに映す。 学習材 先生が作った作品
	未来のさくらちゃんを作ろう！			
展開	2 創作活動をする。 ①設計図づくり ②土台作り ③紙粘土でさくらちゃん作り	○作ってみたい！！ ・土台は緑色が良いな。 ・きっとさくらちゃんはお腹大きくなっているはず。 ・さくらちゃん作るの楽しい。 ・結構難しい。 ・たくさんの赤ちゃんと一緒にいるから、さくらちゃんの他にもたくさん作らないと。 ・もう時間だよ。 ・さくらちゃんの家をつくらう！ ・絵具気を付けて。 ・余った紙粘土はどうすればいい？ ・作品はどこに置くの？	30'	・1, 2時間目の休み時間は休憩取りたい人は取るように指示を出す。 ・机間指導において、悩んでいる子などについては思いを聞いて進めるようにする ・早めにさくらちゃんを作った子が居たら、土台やその周りの物を作っていいものとする。 ・ICT：子どもの作品や、いいなと思った姿を子どもに共有する。 ・次回は自分の持ってきたものを使っていいことを伝える
	終末	4 2時間目への引継ぎ ・クラスの児童の考えなどを共有する (ICT)	・○○くんの作り方がいいな！ ・そうやって絵の具をこねるといいか。 ・小屋作りしたいな。 ・もっと作りしたいな。	